

「スマホに子守をさせないで！！」

ついに 日本小児科医会が動きました。

急速に進化し続けるネット社会。ネット依存症患者は、分かっているだけでも420万人を超え(2013年調べ)、地元の久里浜医療センターのネット依存専門外来に、患者が溢れているという話も聞きました。

—ある日の新聞記事から—

6歳児までの母親2190人を対象にした調査によると、子どもがスマホに触れ始めたのは47%が2歳以下と答え、30.6%がほぼ毎日触っていると回答。

(2016年MMD研究所調査)



小中学生に留まらず、乳幼児の日常生活にまでスマホやタブレットが当たり前に入り込んでいるという実態に驚愕したという手記でした。



利用が頻繁になれば、視力をはじめ心身の発達の影響が懸念されるとして、日本小児科医会は冒頭の表題のポスターを作成して警告を発し、親子の会話や、体験を共有する大切な時間を今一度考え、触れる時間をしっかりコントロールすべきと呼びかけているのです。

保護者のスマホ利用時間が長くなるほど、子どもの利用も長くなるという結果も出ているので、是非！子どもたちのお手本になれるよう、保護者自身も使い方を考えたいものですね。